

みずほCustomer Desk Report 2019/08/08号(As of 2019/08/07)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	106.15
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	106.33	1.1206	119.12	1.2172	0.6763
SYD-NY High	106.46	1.1242	119.27	1.2191	0.6783
SYD-NY Low	105.50	1.1177	118.46	1.2123	0.6678
NY 5:00 PM	106.26	1.1199	119.01	1.2143	0.6760
NY DOW	26,007.07	▲ 22.45	日本2年債	-0.2400	▲ 2.00bp
NASDAQ	7,862.83	29.56	日本10年債	-0.2000	▲ 1.00bp
S&P	2,883.98	2.21	米国2年債	1.5999	0.38bp
日経平均	20,516.56	▲ 68.75	米国5年債	1.5413	1.61bp
TOPIX	1,499.93	0.70	米国10年債	1.7199	0.49bp
シカゴ日経先物	20,610	▲ 20	独10年債	-0.5840	▲ 4.30bp
ロンドンFT	7,198.70	27.01	英10年債	0.4875	▲ 2.50bp
DAX	11,650.15	82.19	豪10年債	0.9510	▲ 9.65bp
ハンセン指数	25,997.03	20.79	USDJPY 1M Vol	7.93	0.62%
上海総合	2,768.68	▲ 8.88	USDJPY 3M Vol	7.91	0.46%
NY金	1,519.60	35.40	USDJPY 6M Vol	7.68	0.36%
WTI	51.09	▲ 2.54	USDJPY 1M 25RR	-1.90	Yen Call Over
CRB指数	167.89	▲ 2.65	EURJPY 3M Vol	7.86	0.37%
ドルインデックス	97.62	▲ 0.01	EURJPY 6M Vol	7.78	0.23%

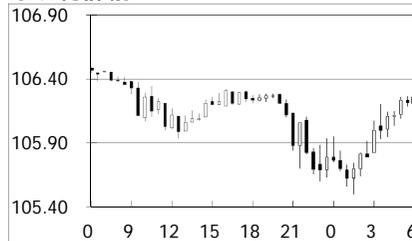
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月7日	08:50	日 日銀 主な意見	-	-
	15:00	独 鉱工業生産(季調済/前月比)	6月 -1.5%	-0.5%
	22:30	米 エバンス・シカゴ連銀総裁 講演	「追加金融緩和が妥当」	

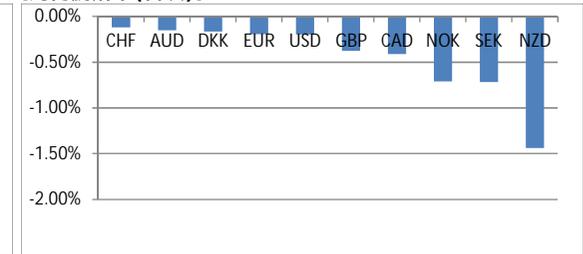
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月8日	21:30	米 新規失業保険申請件数	3-Aug 215k	215k
	23:00	米 卸売売上高(前月比)	6月 0.2%	0.1%
		中 輸出(前年比)	7月 -1.0%	-1.3%
		中 輸入(前年比)	7月 -9.0%	-7.3%
		中 貿易収支	7月 \$42.65b	\$50.98b

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	105.10-106.60	1.1150-1.1250	118.10-119.60

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円相場は下に行き止まりの展開。ニュージーランド、タイ、インドの中央銀行が利下げを発表。世界的な金利低下観測の強まりに、円買い優勢の地合いとなりドル円は東京時間に106円割れ。海外時間には、トランプ大統領やFED要人が相次いで追加緩和について言及を行ったことで、前日安値(105.52)を小幅に更新する105.50まで値を下げた。しかし、米10年債入札が不調だったこと、終盤にかけて米株が買い戻される動きに、ドル円は106円前半を回復した。

本日のドル円は、引き続き下値リスクを警戒すべき局面だと考えている。足元は中央銀行の動向に市場の関心が向いている。とりわけ、米中貿易戦争への懸念から米国の政策金利に更なる利下げ観測が高まっている状況。加えて、新興国などは相次いで緩和方針を明確化している。リスク回避の動きが出やすいことに加えて、利下げ余地の乏しい日本円に関しては相対的に買われやすい状況が続きそうである。

東京	東京時間は106.33レベルでオープン。本日のウォリア人民元の基準値はほぼ予想通りの水準となったものの、じりじりと人民元安が進行すると、ドル円も徐々に下落。ニュージーランド、タイ、インドの中央銀行が利下げを発表するなか、世界的な金利低下の観測の強まりを受け、正午過ぎには105.94を切り、105円台からの実需の買いは多く、すぐさま106円台に反発すると、同レベルで推移。106.23レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、106.23レベルでオープン。特段の材料もなく小動きだったが、午後に米国勢の参入後にドル売りが強まり105.84まで売られ105.88レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1204でオープン。朝方に独6月鉱工業生産が弱い結果となるとユーロ売りで1.1177に低下。午後にドル売りが強まると買い戻され1.1199でNYに渡った。ポンドドルは、1.2151でオープン。内閣不信任への期待が一部で囁かれる中1.2190まで買われる場面もあったが、その後はユーロにつれ安し1.2133まで下落。1.2145でNYに渡った。(ロンドン-ルブリ- 00531 444 179 川田)
ニューヨーク	105.88レベルでNYオープン。朝方は早朝の流れを引き継ぎ、下値模索の展開となる。一時的にタリ平均の下げ幅が500ドル超となり、米10年債利回りが1.59%台まで低下すると、105.60まで下落する。その後もトランプ大統領の「FRBは無能、速やかに大幅な利下げを行うべきだ」、エバンス・シカゴ連銀総裁の「リスクが増大しており、追加緩和が必要かもしれない」との発言が伝わる中、午後にかけても売り優勢の展開が続く。一時105.50をつける。しかし、この水準では買い戻しの意欲が見られたほか、米10年債入札結果が予想以上に不調だったことをきっかけに、米長期金利の低下幅が縮小し、ドル買い優勢となり、106円台を回復。さらに米株も買い戻され、タリ平均がプラスに転じると、106.26まで高値更新。終盤は、高値圏で小動きとなり、結局、106.26レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは欧州金利の低下を背景に一時1.1177まで下落するが、その後、米金利の低下が加速すると、ドル売り優勢となり上昇し、1.1199でNYオープン。海外時間の流れを引き継ぎ、1.1242まで上昇するが、その後、米金利の低下幅縮小にドルが買い戻され、1.1196まで反落。終盤は小幅値を戻し、1.1199でクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:小笠原・原田